



ニュース動画の制作効率が大幅向上！
 豊かな表情で、ニュース原稿を自動読み上げ
 「いらすとキャスター・ぷらす」を
 「TBS NEWS」が開発

「いらすとキャスター」とは？

様々なデジタル媒体・SNSを通じて
 24時間、365日ニュースを届けている
 「TBS NEWS」。

多忙を極める報道機関の働き方改革に
 つなげるため、そして

テレビニュースが届きにくい若年層に、
 スマホでニュースを届けるために、

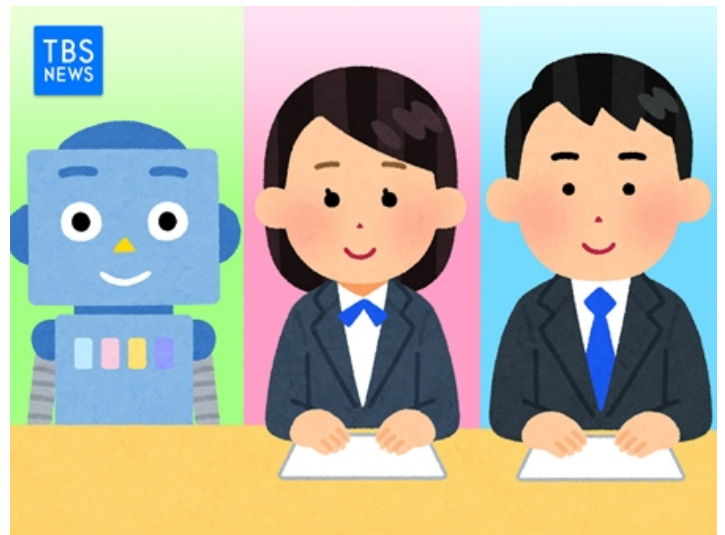
「いらすとキャスター」は開発されました。



幅広い世代に人気のイラスト素材

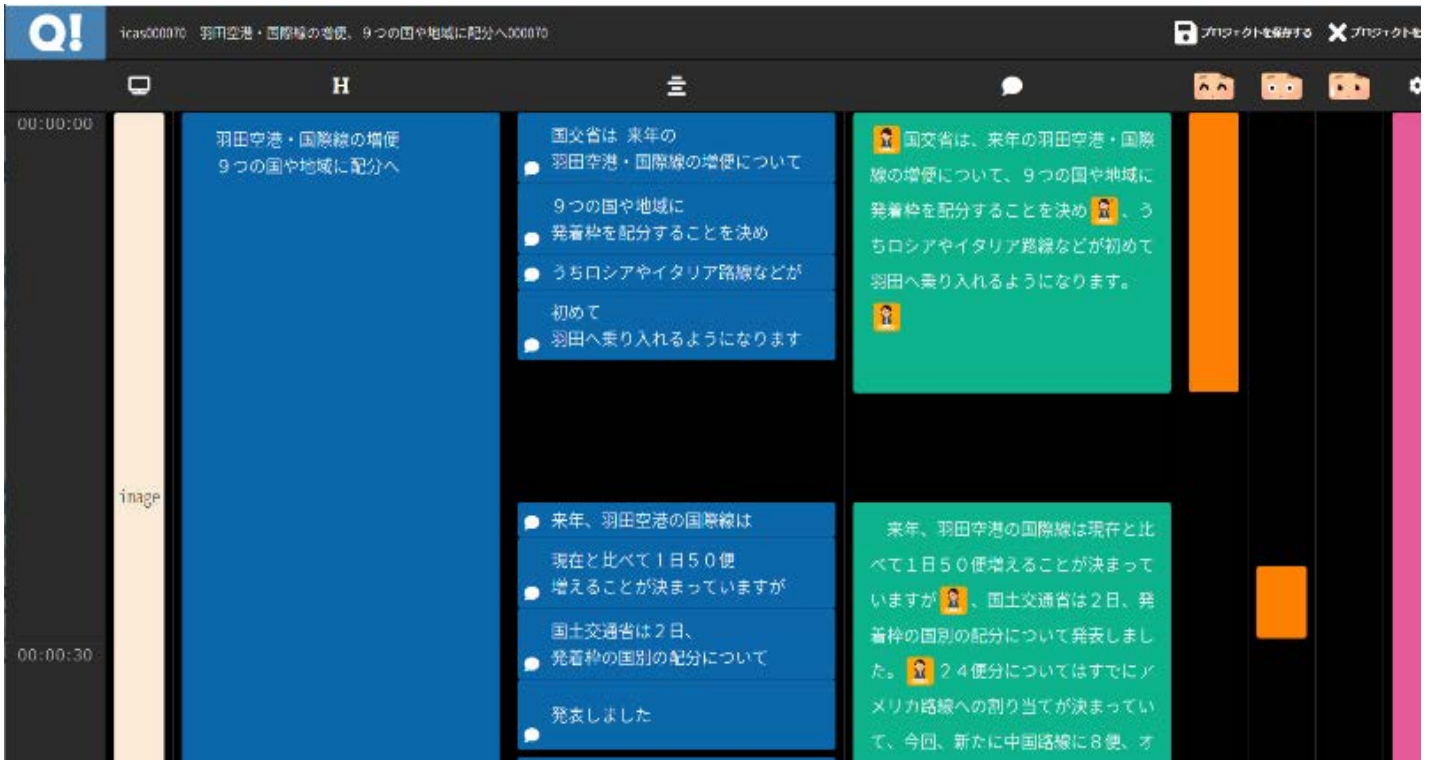
「いらすとや」の作者、みふねたかしさん
 協力のもと、2018年10月にデビューし、
 初日の動画再生数は200万回超。
 明るめのニュースを中心に毎日数本、
 ツイッターやYouTube等で配信し、
 若年層など、これまで約2,000万人に
 ニュースを届けてきました。

どこが進化？



「いらすとキャスター」の面々

その「いらすとキャスター」がこの度、デジタルニュースの信頼性と質の向上を目指す
 Googleの取り組み「Google ニュース イニシアティブ」の支援を受けて最先端技術を導
 入。制作効率を大幅に向上させ、「いらすとキャスター・ぷらす」へと進化しました。
 具体的には、「自動読み上げ（音声合成）機能」や「CG自動合成機能」などを搭載、よ
 り多くのニュースを素早く届ける事ができるようになりました。



いらすとキャスター・ぷらすのPC上の編集画面。緑色がニュース原稿を音声合成するエリア。
(挿入されたマークは、キャスターのアクション箇所。)一番右側の欄は、キャスターの目の表情を選択するエリア

これまでは、プロのキャスターが読み上げた音声を「いらすとキャスター」のCGなどと組み合わせて展開してきましたが、今後は、キャスターが多忙で「読み手」が確保できないときでも“合成された音声”を用い、デジタル・SNSファーストでニュースを出すことが可能になりました。

また独自のUI(ユーザー・インターフェイス)やCG自動合成機能を活用し、CGに熟達したオペレーターがいなくても、豊かな表情を自然に付ける事ができるようになりました。

さらに自動読み上げ機能をめぐっては、新たな計画も進行中です。
「いらすとキャスター」はどこまで進化するのか。今後もご注目ください。

(最新情報)

「いらすとキャスター」は先日(10/2)あらゆる領域におけるクリエイティブ(広告作品やデザイン性のあるコンテンツ)を対象とした日本最大級のアワード「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS (2019)」で応募総数2,456作品の中から、「ブランデッド・コミュニケーション」部門のファイナリスト(入賞作品)に選ばれました。

【この件に関するお問い合わせ先】

TBSテレビ 03-3746-1111(代表)

報道局デジタル編集部=池田(概要について)

技術局報道技術部=安田(技術面について)

以上